

組合を大きくして不安なく働ける会社にしよう!

か い な

全日本金属情報機器労働組合(JMIU) 日本アイビーエム支部
東京都港区赤坂2丁目20番6川瀬ビル5F 〒107-0052
TEL: 03-3583-9037 FAX: 03-5562-0853
定価 月 500円

●12月1日付賃上げ要求

- ・MBA昇給と臨時昇給を実施し、全従業員の賃上げをすること。4月昇給と合わせて全従業員の昇給率が最低でも3%以上となるようにすること。
- ・組合が提示している年齢別保障給に満たない従業員について、臨時昇給を実施し、保障給まで賃上げすること。
- ・賃金減額をしないこと。

●12月10日付一時金要求

- ・消えた基礎算定期間(2014年11月15日～12月31日)分を上乗せすること。
- ・PBC評価に関係なく、最低でもReference Salaryの6%以上のGDPを支給すること。
- ・一時金の最低支給基準を設け、最低でも組合が提示している年齢別保障給+旧住宅費補助の2.5ヶ月分を支払うこと。
- ・シニア契約社員にも一時金を支給すること。
- ・派遣社員・臨時雇用者についても、月次支払額の1ヶ月分を支給すること。

●定年延長および再雇用制度に関する要求

- ・JMIU統一要求を下回らない賃金で、65歳まで雇用を保証すること。また、再雇用では、シニア契約社員について、月額給与17万円を改め、30万円に引き上げること。

●ストレスチェックに関する要求

- ◆2015年末から実施されるストレスチェックについて
- ・実施にあたっては、組合と事前協議し、合意の上で行うこと。
- ・チェック結果は本人のみに直接通知する(事業者に対しては秘匿扱いとする)こと。
- ・産業医による面談を強要したり、休職や退職の勧奨に悪用しないこと。
- ・産業医は従業員の側に立って活動すること。
- ・集団分析は個人が特定できないような匿名データにした上で外部の第三者機関で実施し、職場環境の改善に結びつけること。
- ・以下を理由とした不利益取り扱いをしないこと。
 - ストレスチェックを受けないこと。
 - ストレスチェックの結果の提供に同意しないこと。
 - 高ストレス者として面接指導が必要と評価されたにもかかわらず面接指導を申し出ないこと。
- ・面接指導の結果を理由とした解雇、雇止め、退職勧奨、不当な配転・職位変更等を行わないこと。

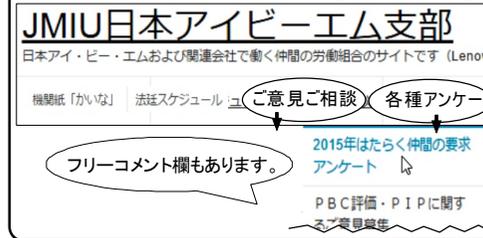
(2面に続く)

秋闘Web意見募集中 ご協力をお願い

組合Webサイトの「各種アンケート」メニューから、以下の項目等については是非ご意見をお寄せください。多くの方の声をお待ちしております!

- ・「MBA昇給について」
- ・「PBC評価、PIPに関するご意見」
- ・「会社への不満(「ご意見ご相談」からどうぞ)」

組合Webサイト: <http://www.jmiu-ibm.org/>



10月15日、第240回金属反合同行動に参加しました。8時過ぎの日本アイ・ビー・エム本社前行動では、会社への怒りの訴えとして、数々の力強い連帯の挨拶がありました。その中から、2名の仲間の訴えを以下にご紹介します。

資生堂争議原告池田和代さん

労働者はとても弱い立場です。資生堂は在庫調整という理由でさらに大幅の利益を追求する為に、

鎌倉工場を閉鎖までして一生懸命誇りを持って仕事をしていた、なんの落ち度もない私達24名の女性労働者をモノのように扱って

解雇してしまいました。断じて許せません。私は30年前にIBM藤沢工場の社員でした。当時もとても大切にされました。しかし現在のIBMはどうでしょう。社員に対してロックアウト解雇や賃金減額等非人道的な行為が今も行われており、同じ労働者として絶対に許す事ができません。正規も非正規も民間労働者も公務労働者も人間らしく働き、人間らしく生活する権利を確立したいのではないのでしょうか!

労働者は「今」だけではなく一生働き続けたいのです。解雇撤回や減額を取り戻す事はわれわれの力で最後の瞬間まで闘います。ともに頑張りましょう!

会社への不当行為を許すな
日本ロール支部 野崎和さん

私どもの会社という50年前の状況を思い描いた映画「ドレイ工場」を思い浮かべる方も多いと思います。しかし現在でもあ

10月3日、練馬区民センターで行われたスクラムコンサートに参加しました。

IBM原告団は、同じように争議を抱えたJAL、郵政、保育、電通などの労働者に加わり、IH労働者合唱団の助けも借りてIBM解雇争議支援曲「私はここに立つ」を熱唱。最後は客席とともに「がんばろう」をこぶしを振り上げ高らかに歌い、会場からの大きな拍手に争議勝利への

仲間と共に「がんばろう」
スクラムコンサート参加報告

力をいただきました。

おりそれを気にする会社に対して、この金属反合同行動でも夕方の日本ロール本社前行動の支援を強くお願いします。

日本IBMに対しては、非人道的にロックアウト解雇した原告を直ぐに職場に戻し、法律を守り、正常な労使関係を持つよう訴えて、わたしたちからの連帯の挨拶とします。勝利する日までともに頑張りましょう!(以上要約)



社前で訴える池田さん

10月3日、練馬区民センターで行われたスクラムコンサートに参加しました。

IBM原告団は、同じように争議を抱えたJAL、郵政、保育、電通などの労働者に加わり、IH労働者合唱団の助けも借りてIBM解雇争議支援曲「私はここに立つ」を熱唱。最後は客席とともに「がんばろう」をこぶしを振り上げ高らかに歌い、会場からの大きな拍手に争議勝利への

10月3日、練馬区民センターで行われたスクラムコンサートに参加しました。

IBM原告団は、同じように争議を抱えたJAL、郵政、保育、電通などの労働者に加わり、IH労働者合唱団の助けも借りてIBM解雇争議支援曲「私はここに立つ」を熱唱。最後は客席とともに「がんばろう」をこぶしを振り上げ高らかに歌い、会場からの大きな拍手に争議勝利への



「がんばろう」こぶしを振り上げ大合唱の仲間たち

10月3日、練馬区民センターで行われたスクラムコンサートに参加しました。

IBM原告団は、同じように争議を抱えたJAL、郵政、保育、電通などの労働者に加わり、IH労働者合唱団の助けも借りてIBM解雇争議支援曲「私はここに立つ」を熱唱。最後は客席とともに「がんばろう」をこぶしを振り上げ高らかに歌い、会場からの大きな拍手に争議勝利への

10月3日、練馬区民センターで行われたスクラムコンサートに参加しました。

IBM原告団は、同じように争議を抱えたJAL、郵政、保育、電通などの労働者に加わり、IH労働者合唱団の助けも借りてIBM解雇争議支援曲「私はここに立つ」を熱唱。最後は客席とともに「がんばろう」をこぶしを振り上げ高らかに歌い、会場からの大きな拍手に争議勝利への

10月3日、練馬区民センターで行われたスクラムコンサートに参加しました。

IBM原告団は、同じように争議を抱えたJAL、郵政、保育、電通などの労働者に加わり、IH労働者合唱団の助けも借りてIBM解雇争議支援曲「私はここに立つ」を熱唱。最後は客席とともに「がんばろう」をこぶしを振り上げ高らかに歌い、会場からの大きな拍手に争議勝利への

10月3日、練馬区民センターで行われたスクラムコンサートに参加しました。

IBM原告団は、同じように争議を抱えたJAL、郵政、保育、電通などの労働者に加わり、IH労働者合唱団の助けも借りてIBM解雇争議支援曲「私はここに立つ」を熱唱。最後は客席とともに「がんばろう」をこぶしを振り上げ高らかに歌い、会場からの大きな拍手に争議勝利への

10月3日、練馬区民センターで行われたスクラムコンサートに参加しました。

IBM原告団は、同じように争議を抱えたJAL、郵政、保育、電通などの労働者に加わり、IH労働者合唱団の助けも借りてIBM解雇争議支援曲「私はここに立つ」を熱唱。最後は客席とともに「がんばろう」をこぶしを振り上げ高らかに歌い、会場からの大きな拍手に争議勝利への



この法律ができれば

法案の問題点は何か

現在、政府はいくら働いても残業代が払われない法律(過労死促進法・残業代ゼロ法)の制定を進めています。これら過労死促進法・残業代ゼロ法案の問題点を見た上で、根拠のない説明にだまされたいことを呼びかけるため、以下労働弁護団パンフレットから記事を紹介いたします。

過労死促進法 残業代ゼロ法案を食い止めよう

労働弁護団パンフレットから

現在、政府はいくら働いても残業代が払われない法律(過労死促進法・残業代ゼロ法)の制定を進めています。これら過労死促進法・残業代ゼロ法案の問題点を見た上で、根拠のない説明にだまされたいことを呼びかけるため、以下労働弁護団パンフレットから記事を紹介いたします。

組合推薦候補に投票を ~従業員代表選挙~

会社はここ数年、借上げ社宅の廃止や私傷病休職の有給期間の短縮など労働条件を悪化させてきました。それに対して、これまで当選した従業員代表は、ほとんど異議を唱えることなく、この悪化を容認してきました。このようなことをなくすために、組合推薦候補に投票しましょう。

組合なんでも相談窓口

Table with columns: 事業所名, 職場名, 氏名, 電話番号. Lists various branches and their contact info.

Table with columns: 法律相談, 東京法律事務所, 岡田尚法律事務所. Provides legal consultation details.

果として女性が介護・育児の負担を背負われ、政府が提唱する「女性の活躍」も阻害されることになり得ます。そのためこの法律の制定は単なる残業代(お金)の問題ではなく、すべての方に影響する重大な問題なのです。

根拠のない説明にだまされたい

過労死促進法・残業代ゼロ法については、何の根拠もない様々な説明が行われています。例えば

労働時間制度の改正は「成果に応じた働き方を実現するため」「家庭生活と調和のとれた自由な働き方を実現するため」などといった説明がなされます。

この危険な過労死促進法・残業代ゼロ法の成立を阻止するため、皆さんと一緒に、取り組みを進めていきましょう。

IBM争議の公正な判決を要請

— 10月7日司法総行動報告 —



意思統一集会で訴えるJAL争議団

組合は10月7日、司法総行動に参加し、最高裁、東京地裁、都労委に対して公正な判決を要請する行動を行いました。

を説明し、下級審に対する不当な指導を行わないよう要請しました。特に日本IBMに関連する事件では、退職強要・解雇・賃金減額に関連してこれまでに8つの裁判、2つの労働委員会申立が起こっていることを説明し、日本IBMの暴走を許し、これが青兎役となつて社会全体が不安定化するのではないよう、下級審での判断において、憲法76条3項に基づく「すべて裁判官は、その良心

に従ひ独立してその職権を行う」ことについて保障することを強く求めました。

国民のための司法実現を東京地裁要請

中央労働委員会に対し、JMIU日本IBM支部の大岡委員長を含め10人が要請に入りました。その中で、実行確保措置勧告書を速やかに出すこととが、会社の横暴を止めることができ、正確な審査が行えることを説明しました。また、不当労働行為の迅速で正確な審査・判断には、

全労連・全国一般・資生堂アンフイニ分会の池田和代さん、JMIUIアイビーエム支部の田中純さん、全厚生労働組合の杉浦公一書記長、全印総連の橋場恒幸さんがそれぞれ解雇撤回を目指してたたかう決意を述べました。また、国民救済会の鈴木猛事務局長が袴田事件について、東京高裁は冤罪を認めるべきだと訴えました。

マイナンバー制度に関する要求

- 法律で義務付けられている「特定個人情報に関する安全管理措置」にもとづく基本方針、取扱い規定等を開示すること。
マイナンバーの利用は法令で定められた目的以外には活用しないこと。
マイナンバーの提供を拒否する等を理由に解雇をはじめいっさいの不利益取り扱いを行わないこと。
出向・転籍等を含め、従業員の個人情報(マイナンバー)を社外に提供しないこと。
情報管理について経営者の責任を明確にし、具体的な情報管理方法を確立すること。